

環境省が「環境省記者クラブ」へも同時に資料提供しています。

## 死んだ野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生について

令和5年11月21日（火）に東かがわ市内で回収し、鳥インフルエンザウイルスの簡易検査で陽性となったヒドリガモ1羽について、国立環境研究所で遺伝子検査を実施したところ、環境省を通じて、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出された旨の連絡がありましたのでお知らせします。

### 1 これまでの経緯

- 11月21日（火）にヒドリガモ1羽の死んだ個体を回収し、みどり保全課職員、東部家畜保健衛生所・家畜防疫員による簡易検査を実施したところ、陽性反応を確認
- 同日、環境省が回収場所から半径10kmの範囲を野鳥監視重点区域に指定
- 同日、遺伝子検査のため検体を国立環境研究所に発送
- 27日、環境省から遺伝子検査の結果が高病原性のH5亜型であるとの連絡

### 2 今後の対応方針

引き続き、野鳥監視重点区域において、野鳥の異常の監視を強化します。